

ENEOSセルテック製「エネファーム」の出荷開始 － 世界に先駆けて国内市場での本格販売開始 －

記者各位

当社(社長:西尾 進路)と三洋電機株式会社(社長:佐野 精一郎)が合弁で設立した株式会社ENEOSセルテック(社長:一色 誠一、以下、ENEOSセルテック)は、本日、家庭用燃料電池「エネファーム(ENE-FARM)」の出荷を開始しましたので、お知らせいたします。

出荷開始に併せて開催した式典では、当社代表取締役会長 渡 文明、ENEOSセルテック代表取締役社長 一色 誠一の主催者挨拶に続き、ご来賓を代表して、経済産業省 資源エネルギー庁 燃料電池推進室長 飯田 健太様、大阪ガス代表取締役社長 尾崎 裕様から祝辞を頂いた後、テープカットが行われました。その後、出席者が見守るなか、エネファームの初荷を載せたトラックが出発いたしました。

当社は燃料電池の実用化に向け、長年にわたる研究開発を経た上で、2005年度から2008年度に、財団法人新エネルギー財団(NEF)が実施する「定置用燃料電池大規模実証事業」において事業者中最大となる1328台を設置するなどの実績を重ねてまいりました。

こうした取り組みを踏まえ、本年5月より「エネファーム」ご購入の予約受付を開始いたしました。「民生用燃料電池導入支援補助金」事業など、その普及に向けた政府のバックアップも得て、現時点で成約見込み台数(契約手続き中を含む)は約500台となっております。

当社グループは、民生分野の温暖化対策の切り札として、各方面から早期の普及が期待されている高効率かつ環境性に優れたエネファームの積極的な販売を通じて、グループ理念である「エネルギーの未来を創造し、人と自然が調和した豊かな社会の実現に貢献」してまいります。

記



<初出荷されるエネファーム>

【株式会社ENEOSセルテックの概要】

本 社 : 群馬県 邑楽(おうら)郡 大泉町 坂田 一丁目1番1号
(三洋電機株式会社 東京製作所 内)

資本金 : 1億円

株主構成: 新日本石油 81%、三洋電機 19%

事業概要: 定置用燃料電池システムの開発・企画、システム設計、生産管理

設備投資: 2008～2009年度の2年間に約20億円、以降も追加投資を予定

生産能力: 2010年度に約1万台/年、2015年度に約4万台/年を計画

【エネファーム 出荷式の概要】

1. 日時： 2009年7月1日(水)14:30～15:10
2. 場所： 三洋電機株式会社 東京製作所 内



<テープカット>(左から、ENEOSセルテック 一色社長、新日本石油 渡会長、
大阪ガス 尾崎社長、資源エネルギー庁 飯田室長、群馬県 茂原副知事、
三洋電機 佐野社長、新日本石油 西尾社長)

以上